

青森県平均借入金利動向調査 (2022 年度)

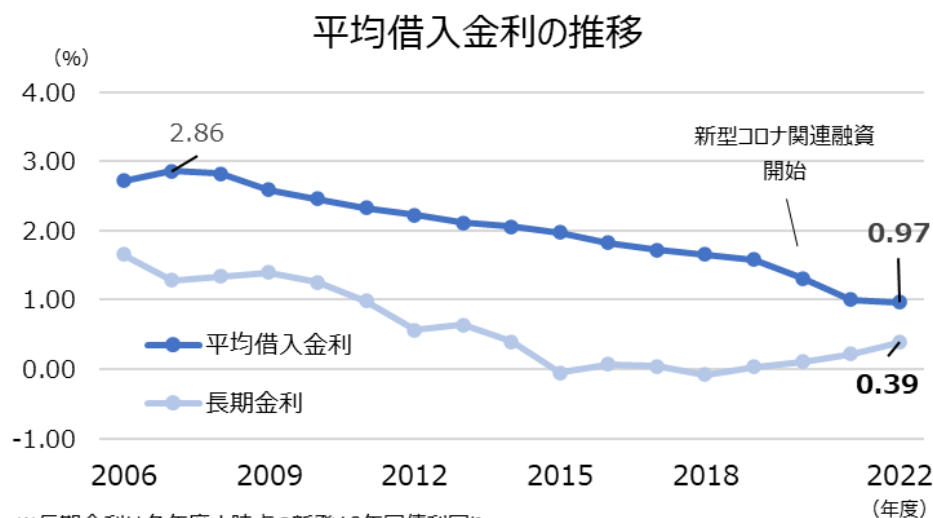
平均借入金利 0.97%

～2023 年度以降は上昇か～

日本銀行による量的緩和、マイナス金利政策の継続により、企業の平均借入金利は低水準で推移している。近時は物価と賃金の上昇が認められるなか、マイナス金利政策の解除観測が高まり、いよいよ「金利のある世界」を迎えようとしている。

こうした情勢を踏まえ、帝国データバンク青森支店では、保有する企業データベースより分析可能な県内の約 2,000 社を抽出、2006 年度～2022 年度の企業の平均借入金利※を算出し、集計した。

- ※ 非営利・特殊法人等を除く県内企業の 2006～2022 年度の財務データを集計
 ※ 平均借入金利は、有利子負債(銀行等、保険、ノンバンク、個人借入等を含む借入金、社債、CP 等を含む総額)に対する支払利息の割合
 ※ 本レポートでは、平均値にトリム平均を用いている。全体の最大値および最小値から合計 10% 分のデータを除き、平均を算出



※長期金利は各年度末時点の新発10年国債利回り

年度	平均借入金利 (%)	前年度比
2006	2.72	
2007	2.86	0.14
2008	2.82	▲ 0.04
2009	2.59	▲ 0.23
2010	2.46	▲ 0.13
2011	2.32	▲ 0.14
2012	2.22	▲ 0.10
2013	2.12	▲ 0.11
2014	2.06	▲ 0.06
2015	1.98	▲ 0.08
2016	1.83	▲ 0.15
2017	1.72	▲ 0.11
2018	1.66	▲ 0.06
2019	1.58	▲ 0.07
2020	1.31	▲ 0.27
2021	1.01	▲ 0.30
2022	0.97	▲ 0.04

平均借入金利は 1%を下回る低水準、新型コロナ関連融資の影響続く

2022 年度の企業の平均借入金利は 0.97%となった。前年度から 0.04 ポイント低下となり、小幅な低下にとどまった。2007 年度 (2.86%) をピークに 2022 年度まで 15 年連続で低下。特に 2020 年度は新型コロナ関連融資がスタートしたことで、実質無利子・無担保での融資が急拡大したこともあり、大きな下げ幅を記録した。

都道府県別では、新型コロナの影響拡大前の 2019 年度と比較すると、全ての都道府県で平均借入金利は低下している。なお、利子補給制度の違いが都道府県間の差となった要因の一つとみられる。民間金融機関による新型コロナ関連融資は、融資実行段階から無利子となる「リアルタイム方式」と、事業者がいったん利子額を支払った後に自治体から支払った利子額が支給される「キャッシュバック方式」があり、平均借入金利の低い都道府県は、いずれもリアルタイム方式となっている。

都道府県別の平均借入金利（低金利順）

都道府県別	平均借入金利 (%)	2019年度比	都道府県別	平均借入金利 (%)	2019年度比	都道府県別	平均借入金利 (%)	2019年度比
奈良県	0.66	▲ 0.55	岩手県	0.92	▲ 0.70	滋賀県	1.10	▲ 0.34
香川県	0.68	▲ 0.39	山形県	0.96	▲ 0.70	佐賀県	1.12	▲ 0.22
島根県	0.77	▲ 0.75	石川県	0.96	▲ 0.49	高知県	1.16	▲ 0.19
富山県	0.77	▲ 0.50	福井県	0.96	▲ 0.35	宮城県	1.16	▲ 0.30
鳥取県	0.79	▲ 0.79	静岡県	0.96	▲ 0.55	千葉県	1.16	▲ 0.26
和歌山県	0.80	▲ 0.48	青森県	0.97	▲ 0.61	新潟県	1.16	▲ 0.18
岡山県	0.80	▲ 0.50	栃木県	0.98	▲ 0.32	秋田県	1.17	▲ 0.52
京都府	0.80	▲ 0.52	愛知県	0.99	▲ 0.15	福島県	1.20	▲ 0.13
埼玉県	0.82	▲ 0.46	長崎県	1.02	▲ 0.37	宮崎県	1.20	▲ 0.28
愛媛県	0.83	▲ 0.45	沖縄県	1.05	▲ 0.64	山梨県	1.21	▲ 0.46
大阪府	0.83	▲ 0.43	福岡県	1.08	▲ 0.22	熊本県	1.24	▲ 0.16
兵庫県	0.83	▲ 0.44	徳島県	1.08	▲ 0.24	茨城県	1.25	▲ 0.15
三重県	0.84	▲ 0.55	長野県	1.08	▲ 0.28	鹿児島県	1.26	▲ 0.46
山口県	0.86	▲ 0.59	群馬県	1.08	▲ 0.21	神奈川県	1.26	▲ 0.24
北海道	0.89	▲ 0.65	岐阜県	1.09	▲ 0.13	大分県	1.28	▲ 0.42
東京都	0.89	▲ 0.45	広島県	1.10	▲ 0.28	全国	0.98	▲ 0.38

2023 年度以降は上昇へ

本集計は、事業年度における支払利息と有利子負債を対比したもので、企業によっては関係会社や役員借入、各種制度融資なども含むため、純粋に金融機関からの借入金利と連動はしないものの、時系列をみても、近年企業への貸出金利が低く抑えられてきたことは明白と言える。昨今の日銀総裁のコメントからも、マーケットに対する「地ならし」は済んだとも捉えられ、マイナス金利解除は確実視されている。全国的にみると、平均借入金利は 0.98%（前年 0.97%）で 15 年ぶりに上昇に転じており、また、新型コロナ関連融資の返済が進めば結果的に金利の上昇圧力にもなり、2023 年度以降は平均借入金利が上昇に転じる可能性が高いと言えよう。

（株）帝国データバンク 青森支店 徳永 博一

【 内容に関する問い合わせ先 】 TEL 017-776-5048 FAX 017-723-4414

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。